

「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」 の表彰組織の決定等

東日本大震災以降、全国の石油コンビナートでは死者を伴う爆発火災事故が4件発生し、化学プラントにおける大規模な爆発に伴う爆風等により、事業所の敷地外まで影響が及んだ事案も発生しています。また、南海トラフ地震や首都直下地震等による災害も懸念されます。

こうした中、平成26年度から、石油コンビナートの事業所の自衛防災組織の技能や士気の向上を図ることを目的として、事業所の保有する消防車両を活用した技能コンテストを実施しています。

平成27年度の技能コンテストは、11月17日に消防庁で表彰・審査委員会を開催し最優秀賞1組織（総務大臣賞）、優秀賞4組織（総務大臣賞）、奨励賞15組織（消防庁長官賞）が決定しました。なお、12月7日に総務大臣賞表彰式を開催します。

1 最優秀賞受賞組織（1組織）【総務大臣賞】

小名浜共同防災協議会

2 優秀賞受賞組織（4組織）【総務大臣賞】

仙台地区共同防災運営協議会

関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織 [新関西国際空港株式会社]

出光共同防災組織 [出光興産株式会社 徳山事業所]

三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織 [三井化学株式会社 岩国大竹工場]

総務大臣賞表彰式は、総務大臣賞受賞組織から組織の代表者及び競技実施者の代表者の2名が出席していただき、平成27年12月7日（月）の14時00分から、中央合同庁舎2号館地下2階の総務省第1・2会議室で開催します。

3 奨励賞受賞組織（15組織）【消防庁長官賞】

別添1のとおり

※別添一覧

別添1：各受賞組織及び管轄消防本部一覧

別添2：「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の概要

別添3：最優秀賞を受賞した小名浜共同防災協議会（福島県）の競技の風景



（連絡先）

消防庁特殊災害室 担当：宮崎、酒川

TEL 03-5253-7528/FAX 03-5253-7538

各受賞組織及び管轄消防本部一覧

最優秀賞受賞組織（1 組織）【総務大臣賞】

自衛防災組織名	管轄消防本部等
小名浜共同防災協議会	いわき市消防本部

優秀賞受賞組織（4 組織）【総務大臣賞】

自衛防災組織名	管轄消防本部等
仙台地区共同防災運営協議会	塩釜地区消防事務組合消防本部
関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織 [新関西国際空港株式会社]	泉州南広域消防本部
出光共同防災組織 [出光興産株式会社 徳山事業所]	周南市消防本部
三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織 [三井化学株式会社 岩国大竹工場]	岩国地区消防組合消防本部

奨励賞受賞組織（15 組織）【消防庁長官賞】

自衛防災組織名	管轄消防本部等
苫小牧地区共同防災組織 共同出光隊	苫小牧市消防本部
石油備蓄基地共同防災組織 「北海道石油共同備蓄隊」	胆振東部消防組合消防本部
むつ小川原石油備蓄株式会社自衛防災組織 [むつ小川原石油備蓄株式会社 六ヶ所事業所]	北部上北広域事務組合消防本部
新日鐵住金(株)鹿島製鐵所 自衛防災組織 [新日鐵住金(株)鹿島製鐵所]	鹿島地方事務組合消防本部
千葉市新港地区共同防災協議会	千葉市消防局
J X 日鉄日石エネルギー株式会社根岸製油所自衛防災組織 [J X 日鉄日石エネルギー株式会社根岸製油所]	横浜市消防局
富山地区共同防災協議会	富山市消防局
福井火力自衛防災隊 [北陸電力株式会社 福井火力発電所]	嶺北消防組合消防本部
出光愛知自衛防災組織 [出光興産株式会社愛知製油所]	知多市消防本部
新日鐵住金株式会社 和歌山製鐵所自衛防災組織 [新日鐵住金株式会社 和歌山製鐵所]	和歌山市消防局
水島コンビナート地区共同防災組織 菱化隊	倉敷市消防局
伊藤忠エネクス株式会社 江田島ターミナル 自衛防災組織 [伊藤忠エネクス株式会社 江田島ターミナル]	江田島市消防本部
西部石油(株)山口製油所自衛消防組織 [西部石油株式会社山口製油所]	宇部・山陽小野田消防局
松山地区共同防災組織 (コスモ松山石油株式会社松山工場)	松山市消防局
新居浜地区共同防災協議会	新居浜市消防本部

1. 趣旨・目的

東日本大震災以降、全国の石油コンビナートでは死者を伴う爆発火災事故が4件発生。化学プラントにおける大規模な爆発に伴う爆風等により、事業所の敷地外まで影響が及んだ事案も発生。南海トラフ地震や首都直下地震等による災害も懸念。
⇒平成26年度から、自衛防災組織の技能や士気の向上を図ることを目的として、事業所が保有する消防車両を活用した技能コンテストを実施。

2. 概要

事業所内の石油等を貯蔵する屋外貯蔵タンクで火災が発生したと想定し、その対応のための消火活動競技を、大型化学高所放水車及び泡原液搬送車(右図参照)を活用して行い、消防用機材の確実な操作、安全管理等を審査。
なお、審査にあっては、ビデオ審査による予選を実施。

<大型化学高所放水車(車両①)>



3. 参加組織

全国の事業所に設置されている772組織のうち、大型化学高所放水車(車両①)と泡原液搬送車(車両②)を法令の規定により保有する99組織を対象に募集した結果、管轄する消防本部の推薦を受けた35組織が参加。

<泡原液搬送車(車両②)>

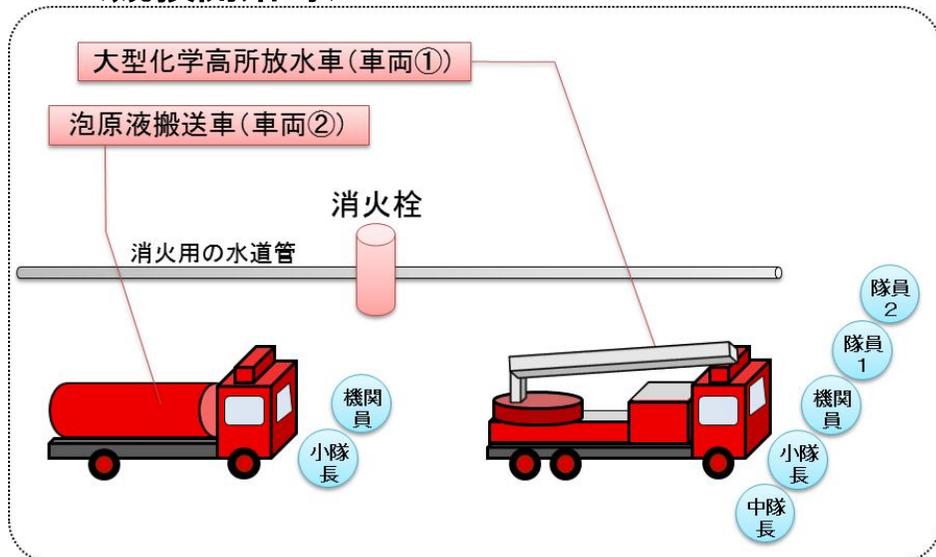


4. 実施時期及び場所

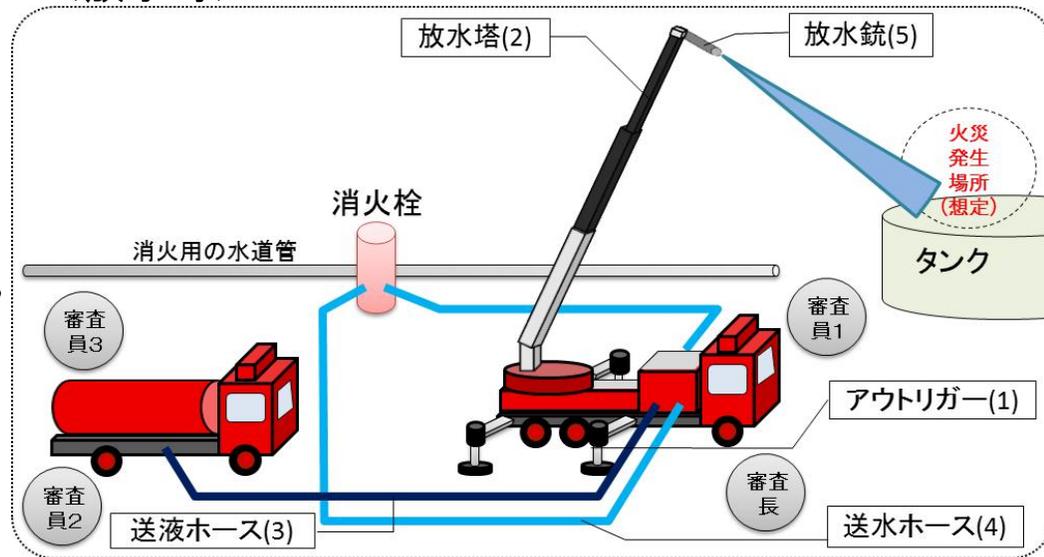
予選を通過した20組織を対象に、津波防災の日(11月5日)の前後1ヶ月程度の間、各事業所へ審査員(消防庁職員)が出向き、5名から7名の競技実施者による実技競技(本選)を実施。

5. 競技内容

<競技開始時>



<放水時>



放水準備・放水

(1)アウトリガーの設定

車両①のアウトリガー(車両支持装置)を設定し、車両を固定

(2)放水塔の設定

車両①の放水塔を伸ばし、屋外貯蔵タンクの上から泡を放出できる高さに設定

(3)泡消火薬剤の送液

両車両を消防用ホースで結合し、車両②に積載されている泡消火薬剤を車両①に送液

(4)送水

消火栓と車両①を消防用ホースで結合し、消火用水を車両①に送水

(5)放水

車両①で、泡消火薬剤と水を混合し、混合液を放水塔先端に送り、発泡させた泡を放水銃から放出
※競技では泡消火薬剤を送液せず、水のみを送水・放水しています。

6. 審査・表彰

審査長1名、審査員3名の計4名で現地審査を行い、11月17日に消防庁において消防庁長官を委員長とする審査・表彰委員会を開催し表彰組織を決定。

最優秀賞1組織(総務大臣賞)、優秀賞4組織(総務大臣賞)

奨励賞15組織(消防庁長官賞)

最優秀賞を受賞した小名浜共同防災協議会（福島県）の競技の風景



①競技開始前の整列

車両前方に整列している7名が競技実施者、左側の4名が審査者、前方の車両が大型化学高所放水車、後方の車両は泡原液搬送車



②泡原液搬送車からの送液

泡原液搬送車からのホースの延長



③放水準備

大型化学高所放水車の放水塔の立ち上げ、ホースの乱れの修正



④放水開始

放水塔を伸ばした後、放水銃から放水開始



⑤終了報告

審査長に訓練終了を報告

- ・各隊員が消火活動において押さえるべき点を確実に把握した上で、適切な安全管理を行いながら、資機材及び車両を正確かつ確実に操作していました。
- ・各隊員が自身に求められる行動を着実に実施するとともに、中隊長を中心として各隊員同士が積極的に連携して、組織一丸となって行動していました。